

年金受取総額保証付変額個人年金保険GF

三味一体(世界バランス55MU)

2012年度 特別勘定の現況

●投資環境(2012年度)

日本株式市場 日経平均株価は期初10,161円で始まりました。中国の経済成長鈍化への懸念や米国の経済指標の悪化などによる世界景気減速懸念等から同株価は下落傾向を示しました。また、欧州債務問題の再燃等により株価下落に拍車がかかり、6月に日経平均株価は当期最安値となる8,238円まで下落しました。その後一進一退のもみあいの展開がしばらく続きましたが、11月に衆議院が解散され、12月の総選挙で自民党が圧勝すると、安倍政権が日銀に無制限の金融緩和を求める姿勢を明確にしたこと等から急ピッチに円安が進行しました。更にその他同政権による機動的な財政政策や成長戦略など矢継ぎ早の政策発動を示唆したこと等を受け、政策への信頼感や企業業績の改善期待等から3月まで同株価は上昇傾向を示しました。3月に日経平均株価は当期最高値となる12,650円まで上昇し、期末は12,397円で終了しました。

外国株式市場 期初、S&P500は1,408.47、FTSE100は5,768.45で始まりました。くすぶる欧州債務問題の再燃でリスク回避の動きから株価は軟調に推移し、6月にはS&P500は1,266.74、FTSE100は5,229.76の当期最安値をつけましたが、7月のドラギ欧州中央銀行総裁の「ユーロ圏の安定のためにあらゆる手段を講ずる用意がある」との発言を契機として、また米連邦準備制度理事会による量的緩和への期待等を背景として、リスク資産を嗜好する動きが強まり、株価はその後年度末に向け緩やかな上昇傾向を示しました。3月にはS&P500が2007年以来の史上最高値更新となる1,570.28を付け、FTSE100は6,533.99の当期最高値をつけるなど株価は堅調に推移し、期末は若干値を戻しS&P500が1,569.19、FTSE100は6,411.74で終了しました。

日本債券市場 10年国債利回りは期初1.01%で始まり、長期化する円高・デフレや日銀の追加緩和期待等により7月に同利回りは0.7%程度まで低下しました。その後一進一退のもみあいがしばらく続きましたが、白川日銀総裁の後任となる黒田新総裁が、2%の物価安定目標を達成するためにマネタリーベースと長期国債・上場投資信託の保有額を2年間で2倍に拡大することや長期国債買い入れの平均残存期間を2倍以上に延長することなど、大胆な金融緩和策を打ち出すと、このいわゆる「異次元緩和」への期待感から同利回りは低下傾向を示し、3月には0.51%まで低下しました。期末は若干上昇して10年国債利回りは0.55%で終了しました。

外国債券市場 期初、米国10年国債利回りは2.22%、ドイツ10年国債利回りは1.84%で始まりました。深刻化する欧州債務問題への懸念を背景に、相対的に高い信用力を持つ米国やドイツの国債が選好された結果、7月に米国10年国債利回りは1.37%、ドイツ10年国債利回りは1.12%まで低下しました。1月に公表された米連邦公開市場委員会議事録で、一部のメンバーが2013年中の国債購入終了の可能性に言及したことが判明したこと等により、米国10年国債利回りが一時上昇しましたが、その後一進一退のもみあいの展開となり、期末には米国10年国債利回りは1.84%、ドイツ10年国債利回りは1.28%で終了しました。

外国為替市場 米国の長期金利の低下や欧州債務問題により、円は逃避通貨として選択されたことから、対米ドルのみならず、ユーロに対しても円高傾向を示しました。9月には米連邦準備制度理事会が導入を決定した量的緩和第三弾を受け、対ドルで円は当期最高値の1米ドル＝77.13円まで上昇しました。欧州債務問題の南欧への波及からユーロは下落を続け、7月には2000年以来のユーロ安・円高水準となる1ユーロ＝94.11円を付けました。その後は、日銀の大胆な金融緩和への期待や燃料輸入の増加の影響等で拡大する日本の貿易赤字等を背景に期末にかけて円安傾向となり、期末には1米ドル＝94.22円、1ユーロ＝120.78円で終了しました。

●特別勘定の運用方針

- | | |
|-------------|---------------------------------------|
| ①当期の運用実績の推移 | 特別勘定の運用状況をご参照ください。 |
| ②当期の運用方針 | 当社は、特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を実施しました。 |
| ③今後の運用方針 | 当社は、今後とも、特別勘定の運用方針に従い、特別勘定の運用を行う方針です。 |

当社は2012年度決算(決算日:2013年3月31日)を行いました。当資料は2012年度の運用状況をご報告するものです。
(3ページ以降は特別勘定レポート(2013年4月発行(2013年3月末現在))からの抜粋となります。最新の運用状況は当社ホームページにてご確認ください。)



211605

●特別勘定資産の内訳(2012年度末)

(単位：百万円)

区分	金額
	世界バランス 55MU
現預金・コールローン	438
有価証券	16,381
公社債	-
株式	-
外国証券	-
公社債	-
株式等	-
その他の証券	16,381
貸付金	-
その他	-
貸倒引当金	-
合計	16,819

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用収支状況(2012年度)

(単位：百万円)

区分	金額
	世界バランス 55MU
利息配当金等収入	271
有価証券売却益	-
有価証券償還益	-
有価証券評価益	1,875
為替差益	-
金融派生商品収益	-
その他の収益	-
有価証券売却損	16
有価証券償還損	-
有価証券評価損	-
為替差損	-
金融派生商品費用	-
その他の費用及び損失	-
収支差額	2,130

※単位未満切捨て

●特別勘定の運用状況(2012年度末)

●ユニットプライスの推移

ユニットプライス



●ユニットプライスの期間収益率(直近1年)

	ユニット プライス	前月比	期間収益率 (左記基準日より 2013年3月末現在まで)
2012年3月31日	81.80	0.56%	9.58%
2012年4月30日	80.92	-1.08%	10.78%
2012年5月31日	77.32	-4.45%	15.94%
2012年6月30日	78.27	1.24%	14.52%
2012年7月31日	79.45	1.51%	12.82%
2012年8月31日	79.84	0.49%	12.27%
2012年9月30日	81.11	1.58%	10.52%
2012年10月31日	80.92	-0.23%	10.78%
2012年11月30日	82.05	1.40%	9.25%
2012年12月31日	83.82	2.15%	6.94%
2013年1月31日	87.23	4.07%	2.76%
2013年2月28日	87.80	0.65%	2.10%
2013年3月31日	89.64	2.10%	-

※ユニットプライスは小数点第3位以下を切り捨てて表示しています。

前月比および期間収益率は、小数点第3位を四捨五入しています。

※ユニットプライス(単位価格)とは、特別勘定資産の積立金の1ユニット(単位)に対する価格のことをいい、特別勘定資産の評価を反映しています。

●特別勘定 純資産総額の内訳

	金額(百万円)	構成比(%)
投資信託	16,381	97.4%
現預金その他	438	2.6%
純資産総額	16,819	100.0%

※保険契約の解約等の異動に備えて、若干の現預金を保有しています。
※金額は単位未満を切り捨てて、構成比は小数点第2位を四捨五入して、表示しています。

●有価証券の売買状況(2012年度)

(単位：千口、千円)

特別勘定の名称	銘柄	買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
世界バランス 55MU	三菱UFJバランスファンド 55VA (適格機関投資家限定)	-	-	3,936,452	3,649,060

※単位未満切捨て

●保有契約高(2012年度末)

(単位：件、百万円)

項目	件数	金額
年金受取総額保証付変額個人年金保険 GF 三味一体(世界バランス 55MU)	3,020	17,226

※単位未満切捨て

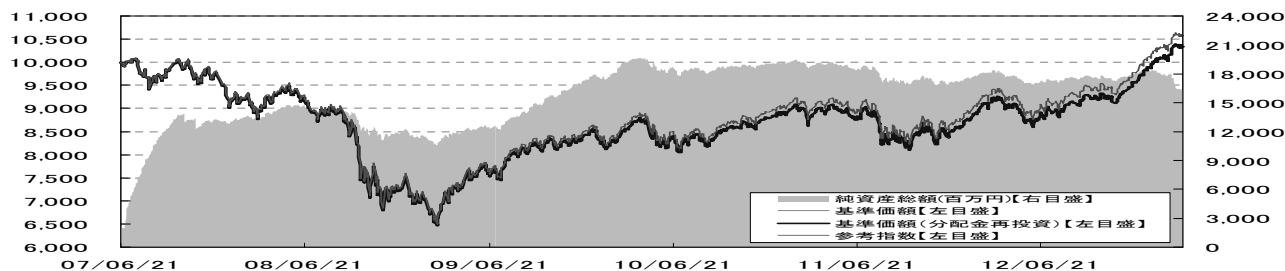
●特別勘定の内容

種類	特別勘定の名称	投資対象となる投資信託	運用会社	運用方針
総合型	世界バランス 55MU	三菱UFJバランスファンド 55VA (適格機関投資家限定)	三菱UFJ投信	国内外の株式および債券を主要投資対象とする投資信託へ分散投資を行い、リスクを抑えながら中長期的な資産の成長を目指します。外国株式部分については原則として為替ヘッジを行い、外国債券部分については原則として為替ヘッジを行いません。基本資産配分は、日本株式10%、外国株式(為替ヘッジあり)45%、外国債券(為替ヘッジなし)15%、日本債券(短期金融資産を含む)30%です。

三菱UFJ バランスファンド55VA (適格機関投資家限定)

- ・投資型年金保険 三味一体（年金受取総額保証付変額個人年金保険GF）（世界バランス５５MU）は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・当資料は、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。

◆設定来の運用実績



- ・基準価額、基準価額(分配金再投資)、参考指数は設定日前営業日を10,000として指数化しています。
 ・基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率0.2625%(税抜0.25%))控除後の値です。
 ・基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
 ・参考指数はNOMURA-BPI総合指数(再投資率30%、東証株価指数(TOPIX)(配当込)10%、シテグループ世界国債インデックス(除日本、円換算ベース)15%、MSCI Kokusai Index(MSCIコクサイインデックス)(税引前配当込み、円ヘッジ・円ベース)45%)を組み合わせた合成指数です。なお、NOMURA-BPI総合指数、東証株価指数(TOPIX)(配当込み)、シテグループ世界国債インデックス(除日本、円換算ベース)については設定日前営業日を、MSCI Kokusai Index(MSCIコクサイインデックス)(税引前配当込み、円ヘッジ・円ベース)については設定日翌営業日をそれぞれ計算の起点としています。
 ・NOMURA-BPI総合指数とは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券・フォアマンズインデックスで、国債のほか、地方債、政府保証債、金融債、事業債および円建て外債等で構成されており、ポートフォリオの投資収益率、利回り・クーポン・デュレーション等の各指標を日々公表されます。NOMURA-BPI総合指数は野村證券株式会社との契約であり、当年度の運用成果に關し、野村證券株式会社は一部関係ありません。東証株価指数(TOPIX)(配当込み)とは、東京証券取引所第一部に上場する日本普通株式全銘柄を対象として算出した指数(TOPIX)に、現金配当による権利劣化の修正を加えた株価指数です。東証株価指数(TOPIX)(配当込み)に関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所とは、東証株価指数(TOPIX)(配当込み)の算出もしくは公表の方法、東証株価指数(TOPIX)(配当込み)の算出もしくは公表の停止または東証株価指数(TOPIX)(配当込み)の商標の更なる使用は停止を行う権利を有しています。シテグループ世界国債インデックス(除日本)とは、シテグループ・グローバル・マーケティング・インクが開設した、日本を除く世界主要国の国債の総投資利回り及在市場の時価総額加重平均指数化した債券インデックスです。シテグループ世界国債インデックス(除日本、円換算ベース)とは、シテグループ世界国債インデックス(除日本)をもとに、委託会社が計算したものです。MSCI Kokusai Index(MSCIコクサイインデックス)(税引前配当込み、円ヘッジ・円ベース)とは、MSCI Inc.が開設した株価指数で、日本を除く世界の主要国で構成されています。また、MSCI Kokusai Index(MSCIコクサイインデックス)(税引前配当込み、円ヘッジ・円ベース)はMSCI Inc.の財産であり、MSCIはMSCI Inc.のサービス業者です。

◆ファンド現況

	2013/3/29	前月末	前月末比
基準価額	10,349円	10,109円	+240円
純資産総額(百万円)	16.381	17.865	-1.483

◆資産構成

	標準 資産配分	ファンドの 資産構成
国内株式	10.00%	10.35%
国内債券	30.00%	29.50%
外国株式(ヘッジあり)	45.00%	44.40%
外国債券	15.00%	14.80%
短期金融商品	0.00%	0.95%
合計	100.00%	100.00%

*ファンドの資産構成は当ファンドに組み入れている実質的な資産の比率(純資産総額比)。
・計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより「短期金融商品」の値がマイナスで表示されることがあります。
(注)REITの組み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。

◆騰落率

	過去1カ月	過去3カ月	過去6カ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	2.37%	7.79%	12.18%	12.67%	19.70%	3.49%
参考指数	2.44%	7.97%	12.46%	13.16%	21.04%	5.88%
差	-0.07%	-0.17%	-0.28%	-0.48%	-1.35%	-2.39%

- ・ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。
また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りは異なります。
- ・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。

◆分配金実績(税引前)

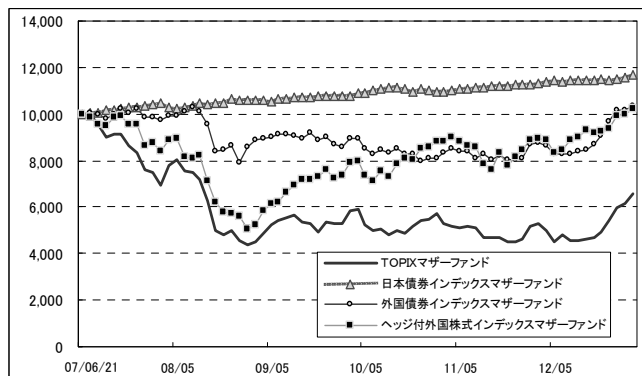
	直近期	2期前	3期前	4期前	5期前	6期前	設定来累計
決算日	2013/2/20	2012/2/20	2011/2/21	2010/2/22	2009/2/20	2008/2/20	
分配金	0円	0円	0円	0円	0円	0円	0円

- ・1万口当たりの税引き前分配金実績です。

◆ファンドの特色

- ①日本債券インデックスマザーファンド受益証券、TOPIXマザーファンド受益証券、外国債券インデックスマザーファンド受益証券およびヘッジ付外国株式インデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とし、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。
- ②日本債券インデックスマザーファンド受益証券30%、TOPIXマザーファンド受益証券10%、外国債券インデックスマザーファンド受益証券15%およびヘッジ付外国株式インデックスマザーファンド受益証券45%を標準資産配分とし、これを維持します。
- ③各受益証券の時価変動による標準資産配分からの乖離については、1か月に1回程度リバランスを行い、これを修正します。

◆各マザーファンド基準価額推移



- ・グラフは三菱UFJ バランスファンド55VA(適格機関投資家限定)の設定日(2007年6月21日)の前営業日(ヘッジ付外国株式インデックスマザーファンドは設定日)を10,000として指数化しています。

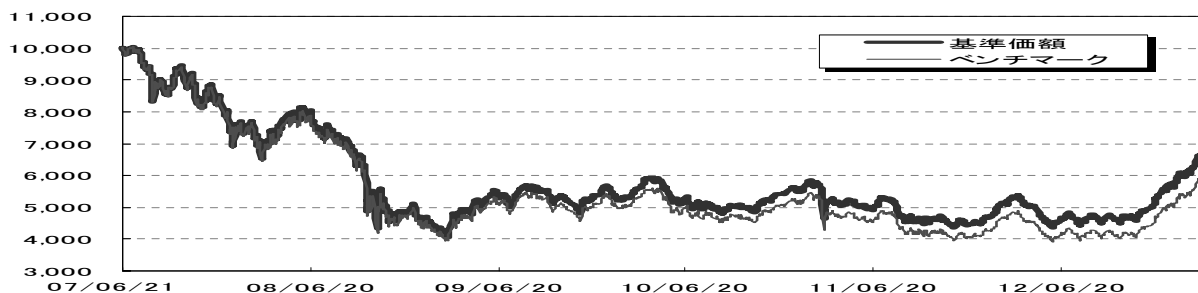
(注) 当資料は信頼できると思われる情報に基づき三菱UFJ投信により作成されていますが、三菱UFJ投信はその正確性、完全性を保証するものではありません。
ここに示された意見などは、当資料作成日現在の見解であり、事前の連絡無しに変更される事もあります。

三菱UFJ バランスファンド55VA（適格機関投資家限定）

- ・投資型年金保険 三味一体（年金受取総額保証付変額個人年金保険GF）（世界バランス55MU）は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・当資料は、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。

各マザーファンドの運用状況 TOPIXマザーファンド

◆基準価額の推移



・グラフは、三菱UFJ バランスファンド55VA(適格機関投資家限定)の設定日(2007年6月21日)の前営業日を10,000として指数化しています。
 ・ベンチマークは、東証株価指数(TOPIX)です。・東証株価指数(TOPIX)とは、東京証券取引所第一部に上場する内国普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、わが国の株式市場全体の値動きを表す代表的な株価指数です。TOPIXに関する知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。東京証券取引所は、TOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

◆資産構成

	2013/3/29	前月末	前月末比
実質国内株式組入比率	99.03%	99.66%	-0.63%
内 現物	96.98%	98.71%	-1.73%
内 先物	2.05%	0.95%	1.10%

・比率は純資産総額に対する割合です。

◆騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	7.02%	21.46%	41.83%	23.88%	13.27%	-34.06%
ベンチマーク	6.05%	20.34%	40.31%	21.11%	5.71%	-41.99%
差	0.97%	1.12%	1.52%	2.77%	7.56%	7.93%

・騰落率は、三菱UFJ バランスファンド55VA(適格機関投資家限定)の設定日以降の期間を対象に表示しています。
 ・設定来の騰落率は、三菱UFJ バランスファンド55VA(適格機関投資家限定)の設定日(2007年6月21日)の前営業日を起点として計算しています。

◆株式組入上位10業種

	業種	ファンド	ベンチマーク
1	電気機器	11.44%	11.44%
2	輸送用機器	11.14%	11.15%
3	銀行業	10.77%	10.77%
4	情報・通信業	6.13%	6.13%
5	化学	5.63%	5.63%
6	医薬品	5.15%	5.15%
7	機械	5.09%	5.09%
8	卸売業	4.90%	4.90%
9	小売業	4.42%	4.42%
10	陸運業	4.41%	4.41%

・比率は現物株式評価額に対する割合です。

◆株式組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 1699 銘柄)

	銘柄	ファンド	ベンチマーク
1	トヨタ自動車	4.23%	4.36%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	2.82%	2.91%
3	ホンダ	2.03%	2.09%
4	三井住友フィナンシャルグループ	1.91%	1.97%
5	みずほフィナンシャルグループ	1.72%	1.77%
6	キヤノン	1.43%	1.48%
7	ソフトバンク	1.40%	1.44%
8	武田薬品工業	1.34%	1.38%
9	JT	1.27%	1.30%
10	三菱地所	1.21%	1.25%

・比率は純資産総額に対する割合です。

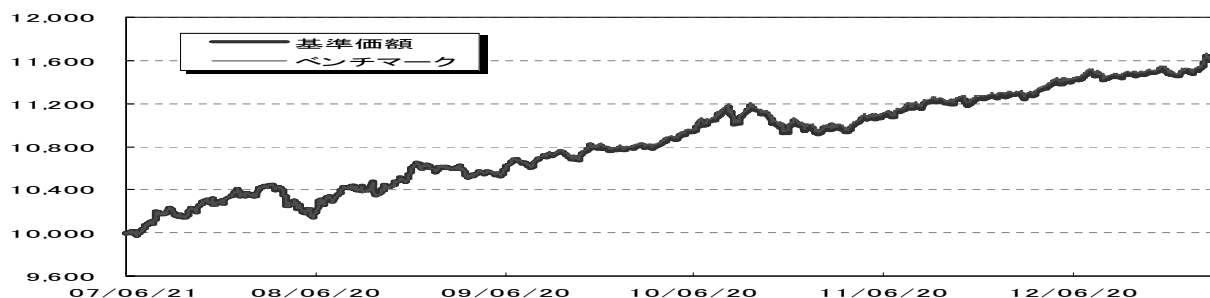
注) 当資料は信頼できるとされる情報に基づき三菱UFJ投信により作成されていますが、三菱UFJ投信はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、当資料作成日現在の見解であり、事前の連絡無しに変更される事もあります。

三菱UFJ バランスファンド55VA（適格機関投資家限定）

- ・投資型年金保険 三味一体（年金受取総額保証付変額個人年金保険GF）（世界バランス55MU）は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・当資料は、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。

各マザーファンドの運用状況 日本債券インデックスマザーファンド

◆基準価額の推移



・グラフは、三菱UFJ バランスファンド55VA(適格機関投資家限定)の設定日(2007年6月21日)の前営業日を10,000として指数化しています。
 ・ベンチマークは、NOMURA-BPI総合インデックスです。NOMURA-BPI総合インデックスとは、野村證券株式会社が発表しているわが国の代表的な債券パフォーマンスインデックスで、国債の他、地方債、政府保証債、金融債、事業債および円建外債等で構成されており、ポートフォリオの投資収益率・利回り・クーポン・デュレーション等の各指標が日々公表されます。NOMURA-BPI総合インデックスは野村證券株式会社の知的財産であり、当ファンドの運用成果に関し、野村證券株式会社が一切関係ありません。

◆資産構成

	2013/3/29	前月末	前月末比
実質国内債券組入比率	99.92%	99.54%	0.38%
内 現物	99.05%	98.75%	0.30%
内 先物	0.87%	0.79%	0.08%

・比率は純資産総額に対する割合です。

◆騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	1.08%	2.20%	2.13%	3.74%	8.66%	17.15%
ベンチマーク	1.08%	2.19%	2.12%	3.72%	8.70%	17.39%
差	0.00%	0.02%	0.00%	0.02%	-0.04%	-0.24%

・騰落率は、三菱UFJ バランスファンド55VA(適格機関投資家限定)の設定日以降の期間を対象に表示しています。
 ・設定来の騰落率は、三菱UFJ バランスファンド55VA(適格機関投資家限定)の設定日(2007年6月21日)の前営業日を起点として計算しています。

◆ポートフォリオプロフィール

	ファンド	ベンチマーク
残存年数	8.66年	8.23年
修正デュレーション	7.52年	7.48年
複利利回り	0.50%	0.50%

・数値は、修正デュレーションを除き債券現物部分について計算しています。

◆公社債種別構成比

種別	比率
国債	75.40%
政保債	4.16%
地方債	7.67%
金融債	1.33%
事業債	8.04%
円建外債	0.89%
MBS	1.39%
ABS	0.16%

・比率は純資産総額に対する割合です。

◆公社債残存別構成比

残存年数	比率
1年未満	0.00%
1～3年	23.69%
3～7年	31.10%
7～10年	16.10%
10年以上	28.16%

・比率は純資産総額に対する割合です。

◆公社債組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 796 銘柄)

	銘柄	種別	クーポン	償還日	比率
1	第263回利付国債(10年)	国債	1.600%	2014/9/20	2.17%
2	第284回利付国債(10年)	国債	1.700%	2016/12/20	1.75%
3	第262回利付国債(10年)	国債	1.900%	2014/6/20	1.69%
4	第285回利付国債(10年)	国債	1.700%	2017/3/20	1.61%
5	第268回利付国債(10年)	国債	1.500%	2015/3/20	1.46%
6	第283回利付国債(10年)	国債	1.800%	2016/9/20	1.45%
7	第287回利付国債(10年)	国債	1.900%	2017/6/20	1.42%
8	第276回利付国債(10年)	国債	1.600%	2015/12/20	1.37%
9	第281回利付国債(10年)	国債	2.000%	2016/6/20	1.33%
10	第270回利付国債(10年)	国債	1.300%	2015/6/20	1.27%

・比率は純資産総額に対する割合です。

注) 当資料は信頼できるとされる情報に基づき三菱UFJ投信により作成されていますが、三菱UFJ投信はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、当資料作成日現在の見解であり、事前の連絡無しに変更される事もあります。

三菱UFJ バランスファンド55VA（適格機関投資家限定）

・投資型年金保険 三味一体（年金受取総額保証付変額個人年金保険GF）（世界バランス55MU）は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。

・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。

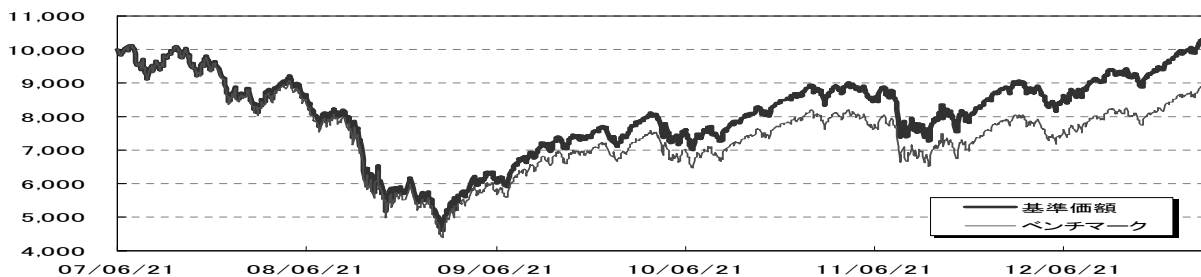
・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。

・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

・当資料は、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。

各マザーファンドの運用状況 ヘッジ付外国株式インデックスマザーファンド

◆基準価額の推移



・グラフは、三菱UFJ バランスファンド55VA(適格機関投資家限定)の設定日(2007年6月21日)を(ベンチマークは設定日の翌営業日)を10,000として指数化しています。

・ベンチマークは、MSCI Kokusai Index(MSCIコクサイインデックス)(円ヘッジ・円ベース)です。・MSCI Kokusai Index(MSCIコクサイインデックス)(円ヘッジ・円ベース)とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要国で構成されています。また、MSCI Kokusai Index(MSCIコクサイインデックス)(円ヘッジ・円ベース)はMSCI Inc.の財産であり、「MSCI」はMSCI Inc.のサービスマークです。

◆資産構成

	2013/3/29	前月末	前月末比
実質外国株式組入比率	98.46%	99.28%	-0.82%
内 現物	95.54%	97.66%	-2.12%
内 先物	2.92%	1.62%	1.30%

・比率は純資産総額に対する割合です。

(注)REITの組み入れがある場合、REITは株式に含めて表示しています。

◆株式国別配分上位

	国名	比率
1	アメリカ	59.03%
2	イギリス	10.03%
3	カナダ	4.96%
4	オーストラリア	4.20%
5	スイス	4.19%
	その他	17.59%

・比率は現物株式評価額に対する割合です。

◆株式組入上位10業種

	業種	比率
1	エネルギー	10.86%
2	医薬品・バイオテクノ・ライフ	8.53%
3	銀行	7.77%
4	資本財	7.41%
5	食品・飲料・タバコ	7.12%
6	ソフトウェア・サービス	6.30%
7	素材	6.24%
8	各種金融	5.09%
9	保険	4.49%
10	テクノロジー・ハードウェア・機器	4.02%

・比率は現物株式評価額に対する割合です。

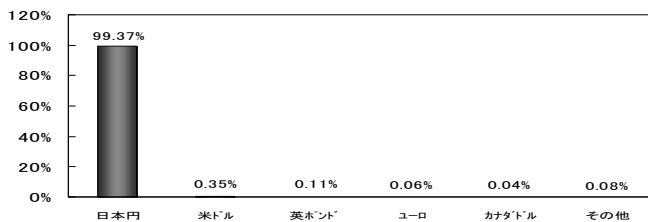
◆騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	2.62%	9.17%	10.33%	14.69%	29.88%	2.49%
ベンチマーク	2.40%	8.65%	9.12%	11.73%	20.43%	-11.28%
差	0.23%	0.52%	1.22%	2.96%	9.45%	13.77%

・設定来のファンドの騰落率は、10,000を起点として計算しています。

・ベンチマークの設定来の騰落率は、三菱UFJ バランスファンド55VA(適格機関投資家限定)の設定日(2007年6月21日)の翌営業日を起点として計算しています。

◆通貨配分



・比率は、[外貨建て純資産÷為替ヘッジ]で計算しており、通貨別にみた実質比率を表します。

◆株式組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 1284 銘柄)

	銘柄	国名	業種	比率
1	APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェア・機器	1.59%
2	EXXON MOBIL CORP	アメリカ	エネルギー	1.57%
3	GENERAL ELECTRIC CO	アメリカ	資本財	0.93%
4	NESTLE SA-REG	スイス	食品・飲料・タバコ	0.89%
5	CHEVRON CORP	アメリカ	エネルギー	0.89%
6	INTL BUSINESS MACHINES CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	0.87%
7	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品・バイオテクノ・ライフ	0.86%
8	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	0.83%
9	PFIZER INC	アメリカ	医薬品・バイオテクノ・ライフ	0.81%
10	PROCTER & GAMBLE CO/THE	アメリカ	家庭用品・パーソナル用品	0.80%

・比率は純資産総額に対する割合です。

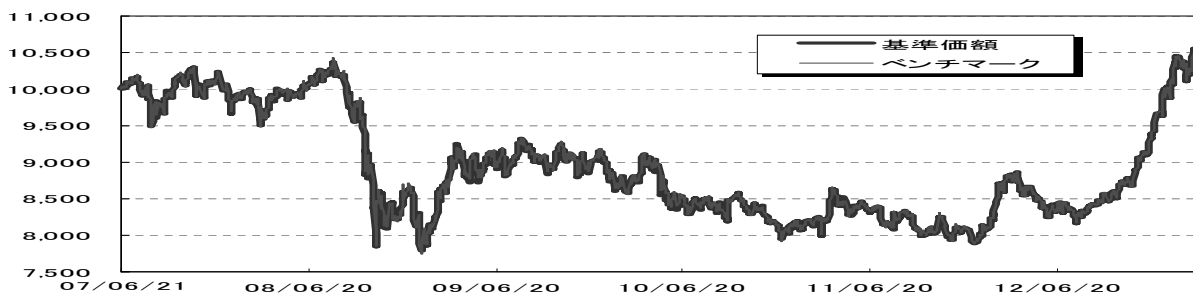
注) 当資料は信頼できるとされる情報に基づき三菱UFJ投信により作成されていますが、三菱UFJ投信はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、当資料作成日現在の見解であり、事前の連絡無しに変更される事もあります。

三菱UFJ バランスファンド55VA（適格機関投資家限定）

- ・投資型年金保険 三味一体（年金受取総額保証付変額個人年金保険GF）（世界バランス55MU）は特別勘定で運用を行う商品です。特別勘定は投資信託を主な投資対象としていますが、当商品は投資信託とは異なる商品です。また、当資料に掲載されている投資信託の開示情報はあくまでも参考情報であり、ご契約者が直接投資信託を保有するものではありません。
- ・当資料は、生命保険契約の募集および当該投資信託の勧誘を目的としたものではありません。
- ・特別勘定が用いる投資信託の値動きは、特別勘定のユニットプライスの値動きとは異なります。ユニットプライス算出のためには、組み入れファンドの損益に、保険契約の異動等に備えたキャッシュ・ポジション部分の損益、保険関係費用等を加味する必要があります。
- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- ・当資料は、三菱UFJ投信株式会社による運用報告を、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社より提供するものであり、当資料の内容に関して、東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社は一切責任を負いません。

各マザーファンドの運用状況 外国債券インデックスマザーファンド

◆基準価額の推移



・グラフは、三菱UFJ バランスファンド55VA(適格機関投資家限定)の設定日(2007年6月21日)の前営業日を10,000として指数化しています。
 ・ベンチマークは、シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)です。・シティグループ世界国債インデックス(除く日本)とは、シティグループ・グローバル・マーケット・インクが開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合投資利回りを各市場の時価総額で加重平均し指数化した債券インデックスです。シティグループ世界国債インデックス(除く日本、円換算ベース)とは、シティグループ世界国債インデックス(除く日本)をもとに、委託会社が計算したものです。

◆資産構成

	2013/3/29	前月末	前月末比
実質外国債券組入比率	99.76%	99.76%	-0.01%
内 現物	99.76%	99.76%	-0.01%
内 先物	0.00%	0.00%	0.00%

・比率は純資産総額に対する割合です。

◆騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	1.26%	6.70%	21.82%	17.79%	15.69%	3.22%
ベンチマーク	1.47%	6.81%	22.11%	18.22%	15.53%	3.27%
差	-0.20%	-0.11%	-0.29%	-0.43%	0.16%	-0.05%

・騰落率は、三菱UFJ バランスファンド55VA(適格機関投資家限定)の設定日以降の期間を対象に表示しています。
 ・設定来の騰落率は、三菱UFJ バランスファンド55VA(適格機関投資家限定)の設定日(2007年6月21日)の前営業日を起点として計算しています。

◆ポートフォリオプロフィール

	ファンド	ベンチマーク
残存年数	7.65年	7.62年
修正デュレーション	6.04年	6.06年
複利回り	1.60%	1.59%

・数値は、債券現物部分について計算しています。

◆公社債通貨別構成比

	通貨	比率
1	米ドル	41.34%
2	ユーロ	41.10%
3	英ポンド	7.40%
4	カナダドル	2.73%
5	オーストラリアドル	1.60%
	その他	5.59%

・比率は純資産総額に対する割合です。

◆公社債残存別構成比

残存年数	比率
1年未満	0.00%
1～3年	29.65%
3～7年	33.94%
7～10年	14.98%
10年以上	21.19%

・比率は純資産総額に対する割合です。

◆公社債組入上位10銘柄

(組入銘柄数: 636 銘柄)

銘柄	種別	クーポン	償還日	国名	比率
1 2 T-NOTE 220215	国債	2.000%	2022/2/15	アメリカ	0.55%
2 1.625 T-NOTE 221115	国債	1.625%	2022/11/15	アメリカ	0.46%
3 4.75 T-BOND 410215	国債	4.750%	2041/2/15	アメリカ	0.39%
4 4.375 T-BOND 410515	国債	4.375%	2041/5/15	アメリカ	0.38%
5 3.125 T-NOTE 190515	国債	3.125%	2019/5/15	アメリカ	0.38%
6 2 T-NOTE 211115	国債	2.000%	2021/11/15	アメリカ	0.38%
7 3.625 T-NOTE 210215	国債	3.625%	2021/2/15	アメリカ	0.38%
8 0.75 T-NOTE 171031	国債	0.750%	2017/10/31	アメリカ	0.37%
9 2.625 T-NOTE 201115	国債	2.625%	2020/11/15	アメリカ	0.37%
10 3.625 T-NOTE 200215	国債	3.625%	2020/2/15	アメリカ	0.36%

・比率は純資産総額に対する割合です。

注) 当資料は信頼できるとされる情報に基づき三菱UFJ投信により作成されていますが、三菱UFJ投信はその正確性、完全性を保証するものではありません。ここに示された意見などは、当資料作成日現在の見解であり、事前の連絡無しに変更される事もあります。

ご負担いただく費用について

この商品にかかる費用の合計額は、下記「契約初期費用」、「保険関係費用」および「資産運用関係費用」の合計額となります。

	項 目	内 容	費 用	備 考(適用時期等)
ご契約時	契約初期費用	当保険の新契約成立等のために必要な費用	一時払保険料の 4%	特別勘定への繰入前に一時払保険料から控除します。
運用 期間中	保険関係費用 (保険契約管理費)	当保険の維持管理等に必要な費用	特別勘定の純資産総額に対して 年率 2.55%	特別勘定の純資産総額に対して年率2.55%/365日を乗じた額を毎日控除します。
	資産運用 関係費用* (資産運用管理費)	特別勘定の運用に係る費用	特別勘定の投資対象となる 投資信託の純資産総額に対して 年率 0.2625% 程度 (税抜 年率0.250%程度)	特別勘定の投資対象となる 投資信託の純資産総額に対して 年率0.2625%程度/365日を 乗じた額を毎日控除します。
年金支払 期間中	保険関係費用 (年金管理費)	当保険の維持管理等に必要な費用	支払年金額に対して 1%	年金支払開始日以降、年1回の 年金支払日に責任準備金から 控除します。

* 資産運用関係費用は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、監査報酬、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の税金等がかかりますが、費用の発生前に金額や計算方法を確定することが困難なため表示することができません。また、これらの費用は投資信託の純資産総額より差し引かれます。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することになります。
なお、資産運用関係費用は、運用手法の変更等により将来変更される可能性があります。

投資リスクについて

この商品をご契約者から払い込まれた一時払保険料を積立金として特別勘定で運用します。この商品の特別勘定は国内外の株式および債券等の各資産を主要投資対象とする投資信託等に投資することにより運用を行います。この商品では、特別勘定の運用実績が将来お受け取りになる年金額・解約払戻金額・死亡保険金額等の変動(増減)につながるため、高い収益性が期待できる反面、投資の対象となる株価や債券価格等が下落した場合には積立金額も下落します。
また、外国株式や外国債券を投資対象としている場合は為替相場の影響を受けますので、為替相場の変動により積立金額が下落する場合があります。その結果、解約払戻金額・年金原資等が払込保険料総額を下回り、ご契約者が損失を被ることがあります。これらのリスクはご契約者に帰属することになりますので十分ご注意ください。

ご注意いただきたい事項

- 「投資型年金保険 三味一体(年金受取総額保証付変額個人年金保険GF)」は東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社を引受保険会社とする生命保険です。預金とは異なり、元本保証はありません。また、預金保険制度の対象ではありません。
- 「投資型年金保険 三味一体(年金受取総額保証付変額個人年金保険GF)」は運用期間満了時点で積立金額が基本保険金額を下回った場合でも年金受取総額で基本保険金額の100%を最低保証します。ただし、年金の受取方法は確定年金(年金支払期間15年)のみとなり、一括受取を希望される場合は基本保険金額の90%を最低保証します。

商品の内容に関しては「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」等をご覧ください。

【募集代理店】	【引受保険会社】 東京海上日動フィナンシャル生命保険株式会社 〒167-0043 東京都杉並区上荻一丁目2番1号 インテグラルタワー TEL 03-6383-6811(大代表) ホームページ http://www.tmn-financial.co.jp ご契約内容・各種手続きに関するお問い合わせは 0120-155-730 受付時間 月～金/9:00～17:00 (祝日および12月31日～1月3日は休業とさせていただきます。)
---------	--